〔第三種郵便物認可〕 昭和六年十月二十八日 磐城新聞 【水曜日】 第三千二百六十六號 〔一〕

夕刊 磐城新聞
十月二十七日發行
（日曜祭日翌日休刊）

官軍墓碑のこと（下）
（鄉土餘談）
島田忠夫

□

照岸寺（新川町裏）の官軍墓碑に就いて、今日次のやうな話を伺つた。三森虎雄氏の御教示に據るものである。

□

照岸寺の久留米藩赤松惣治郎なる者は、詳しくは戰死でない。乃ち自刄である。これは平城落城後の際、久留米藩士どもが、四軒町の鍋屋に强盜のやうに押し入つた。金錢を奪つたものらしい。これが後にやかましくなり官軍でも責任者を出すことになつた。

□

犯人は何づれ血氣盛んな久留米兵どもであつたらうが、善惡は掩へない。乃ち隊長格の赤松惣治郎が切腹することになり、犯行のあつた當の鍋屋に於て自刄して果てた相である。後になつて照岸寺に葬つたものだといふ。

さて考ふるに、當時官軍に於ても、かくの如き秩序はあつたのである。しかし又當時婦女子などで、官軍の木つ葉武士どもに姦せられたものなどあつて、中には惡疾をうけ、所謂官軍のかさは怖ろしいなどと云はれたものだといふ。

□

玆まで書いて、予は三森氏の教示のまま五丁目居住根本廣吉老の許を尋ね、赤松惣治郎の墓碑について聞いた。根本老は曰ふ。鍋屋（椎名氏）に强盜が押入れる頃、久留米藩の總帥格某は白銀町泰野宅に在り、赤松惣治郎は五丁目吉田屋に在り、責任上部下に不屆者を出したる故を以つて切腹を命ぜられしと、以上は根本老が伯父にあたる故馬目與一氏に聞きしものなりと。

□

これで照岸寺の分は判明した。些細なことではあるが、調査が了ると矢つ張り嬉しい。予はこれを記し明日あたり東京へ行くのである。いろ〱予の研究の爲めに助力を賜つた諸氏に謹んで禮を申上る。（十月十三日記）

潮聲俳句

十月二十三日例會俳席マルトモビルにて

席題 秋晴。とひろく。紅葉。尾花。案山子。毛見。後の月。稻雀。秋の風。（其一）

運座 加藤江亭選

濁酒や門に前掻くつなき馬 文狂
後の月再び古城に登りけり 松堂
稻雀口鐵砲に追はれけり 香雨
秋風のめくるや軒の火除札 文狂
洋服も羽織も毛見に交りけり 北窓
たそかれてふと田の案山子人と見し 晩霞
碧潭を彩どる崖の紅葉かな 松堂
セコンドに摑むボールや秋晴るる 紅葉
嵩尾花落武者一騎吹かれ行く 文狂

首藤紅葉選

秋霖のつゞきて、見の見えにけり 松堂
秋風のめくるや軒の火除札 文狂
畑隅に生ひし尾花をいとしみぬ 晩霞
刈終へし早稻田の案山子抱いて出つ 峯賓子
岩蔭へ道曲りけり山紅葉 逸郎
秋晴れや宿痾に堪えて縁にゐる 晩霞
とひろくや門に前掻くつなき馬 文狂
五月蠅かりし蚊もなつかしや後の月 萬袋
稻雀群るる彼方や雲赤き 北窓

高久晩霞選

秋晴の起重機唸り上りけり 峯賓子
濁酒にやすらけく住む山家哉 江亭
後の月傾くまでは見さりけり 北窓
朝靄の晴れて群がる稻雀 松堂
秋風のめくるや軒の火除札 文狂
毛見衆や小倉袴も氣品あり 萬袋
稻刈りて足もあらはの案山子哉 江亭
岩蔭へ道曲りけり山紅葉 逸郎

10月28日 △濃尾大震災（明治二四）△紐育株式大慘落。一日以降總株値下り三百五十億弗（昭和四）△前原一誠亂を山口に起す（明治九）△赤十字の建設者デュナン歿す、瑞西ゼネヴァに生る、博愛慈善を以て生命とし赤十字社建設の名譽を博す女傑ナイチンゲールは彼の理想の下に働ける英國婦人也（紀一、九一〇）

時代警語（社翁）

○煩悶と苦痛とは常に廣大なる意義と深刻なる感情とには避け難いものである、眞正の偉人は地上に大なる苦痛を感じなければならぬ……（ドストイエフスキー警句集）
○實際の常識に反抗して立ち得る爲にはその人は大人物でなければならぬ…………（同）
○人間は他人の戸口を覗いてはならぬ…（同）

一日一禪

○ 世尊隻眼通三界 外道雙眸貫五天

拈華微笑

◇平が良い方の統計で始めて縣下に氣を吐いた昨日の求人開拓數
◇『全郡の米櫃を叩いて六百二十石』とはこの秋腹に心細い話だ
◇六人の男を手玉に取つた美人女中平町に潜入の形跡あるそうな
◇獵師が少いので雉子健々とある
◇井上縣議に光るも二つ。Aアタマ B消防功績章
○……○

講談 俠艶 女長兵衛
東京 斯波南叟
（魚崎潮畫）
（五〇）

長『おかしいぢやないか先生へ御用ならチャンと御本宅へ出なさるが當り前、此方では只の御用はお取次は出來ねへがね』○『マア然う仰しやらずと此方から！』丹波屋助次郎の女房お三が尋ねて來たが、格子口の方へ行つて見ると其處には丸八の娘お露と、喜助が控えて居ります、此時はおつゆも喜助も最う入谷を拂ひ、長兵衛方へ引取られ、多人數出入るやうになつたから人手が入る、兩人は奉公人同樣になつて働いて居たのでございます、お三は此のおつゆに氣乘ねた、一度は自分の家へ賣られて來た女だ、隨分無理な事を言つて女郎になる事を勸めた然うした譯のある女に、自分が助次郎と云ふ亭主がありながら、若い長兵衛を慕つい、今日は口説きに來たのに、おつゆの前へ氣恥づかしいからソツト道場の方で長兵衛に逢ひ何處かお茶屋へでも連出してからと考へたのだ、如何に鐵面皮なお三でも幾らか良心があると見える、其處で受付係の長八、太作等に頼んだのだが此のお百姓も正直一圖で、始め道場の方は入門者切り其他の事は一切主屋で扱ふ譯になつてゐたから、なんと言つても受付けません：…困つたなア、どうしたら旦那に逢へるだらう、たつゆに妾が立廻つた事を知れるのも殘念だし、ト云つて斯う大勢居る中を圖う〱しく這つたでは一遍で長兵衛旦那に愛想を盡かされて終ふ、何とか工夫が無いものか知ら……と當惑したが止むを得ぬから其日は其儘立歸りましたが、四十女の戀と云ふ奴は恐ろしいもので、寢ても覺めても長兵衛の顔が眼先にチラ着き丸で瞼の中へ顔を刻み込まれた形ち、忘れる暇は無いから御苦勞千萬にも淺草田原町から根岸へ日參を始めた日の暮合には少し間がある位な時間に、御行の松へ出て來ては、彼方へブラリ此方へブラリ往つたり來たり廷路ついて居ります、夫れは斯うして毎日來て居れば何時かは長兵衛必ず外出する事があるに違ひない、用足しに出るのを見定め厭應無しに引つ張つて行つて、自分の思ひを貫かう…イヤどうも大變な女だ、彼是十日も通つたが長兵衛ぞ出て來ない、少し小じれにじれてガッカリした顔を我家へ運び込むと、亭主の助次郎が助『毎日〱どこをホツキ歩いてゐやアがる、此頃家に居た事がねへ、どうしやがつたのだ』三『何處を歩いたつて好いぢやないか、家に居るなアくさ〱するから少し保養して居るのだよ、何も泊りをして歩くのぢやなし、好いぢやアないか』助『好いつて事があるか、女房てへものは家にチャンと居て、家の締りをしなくちやア成らねへ外ばかり歩いてゐる女がどこにあるんだ』三『失りやあお前、堅氣な人の言ふ事だよ、斯うした水商賣のものには、其んな言草は通用しないよ、考へても御覧、玉出しから玉の捌きまで何一ッお前が仕出かした事はあるまい、皆妾の顔で一切萬事やつてるぢやアないか、たまにお前の顔へ持つて來るのは此の間の三河島の様に、出來た跡から、直破談が來るぢやあないか、其んなドヂな眞似ばかりで、妾やアつく〱おまへさんに愛想が盡きて終つたよ斯んなものでも亭主があれば人様は矢ッ張り亭主持ちだとよけて通る、あゝ詰らない〱』助『ナ、何んだと亭主をつかまへて斯んなものとは何だ此の阿魔め』三『あゝ妾は阿魔だよ、阿魔に違ひない、女に野郎てへのは無いからね、阿魔で氣に入らなければ、今日限り別れてお呉れ、後家になりや天下晴れて勝手な眞似が出來る、サア三下り半をお書き、別れよう』助『斯ン畜生言はせて置けば出放題ばかりぬかしてやアがる最う勘辨ならねた』と直に摑み合が起つた。

ラヂオ …廿八日（水曜）… 仙臺JOHK

△前六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理献立（卷キャベジ）佐藤つぎ 日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座（トラピスト修道院修行談）西村哲
△正午 A 時報
△後〇、〇五A 映畫物語（大岡政談）南龍美
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△二、〇〇A 家庭大學講座（論理學）中桐確太郎
△二、二五 六、〇〇A 運動競技（秋季六大學野球リーグ戰試合狀況）
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A ニュース
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇B（子供の時間）童話劇（村祭）大阪童話劇協會
△六、三〇A 英語講座（初等科）寺西武夫
△七、三〇F 講演（青年と思想問題）廣島高等學校長十時亘
△八、〇〇A 運動競技（六大學拳鬪聯盟早慶對抗試合）
△九、一〇A 長唄（楠公）岡安あい外九名
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

廣告 生繭相場

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

お醬油は……ヤマフル
醸造元 山崎合名會社
磐城國石城郡平町 電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌醬油 たひら正宗 鰹節 食料品

高久病院（電話五一三番）
平町田町
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先（マツサキ）ニ（松崎（マツサキ）ニ）
三九二（ミクニ）タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

東北ヒヨケの元祖
防水布製 ヒヨケ。テント シート。雨合羽 カーテン。各種
磐城平 敷島製
此のセキニンバンに御注意を願ひます。
常ニ品質ト技術ニ精進。間斷ナキ改良
近頃弊店名儀をたくみに利用し受註する者有る故御注意を願ひます。
平町六丁目大通り
敷島テント商店

吉田眼科病院
平町紺屋町

産科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

無効返金藥（二日內服効なき時は殘藥引替全部返金す）
登録商標 岩里別府淋藥
別府温泉で名高い岩里家の家傳祕藥
知名新聞 雜誌推奬（東京朝日、大阪朝日、東京日日、大阪毎日、富士、講談倶樂部、實業之日本 主婦之友、及全國知名新聞廣告御參照）
人迷せの賣藥多き中に別府市鶴水園岩里天然堂家傳別府淋藥は古來家傳祕藥にして男女血ウミ、痛コシケ、消渇、不思議に止り連服するも絶對胃腸障害なき名藥である、尚同藥は責任ある速効藥にして二日內服効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金す急性慢性惡性治らぬ人は七日のまれよ、申込次第新品送藥す。◎淋病治療書數十頁の美本無代進呈（此の新聞名記入申入者に限）
藥價 急性用（黑箱）一週分三圓 慢性頑固惡性用（赤箱）一週分五圓（送料前金無料代金引換廿三錢）
別府市中濱町 岩里天然堂
特約店 渡邊いと（平町三丁目舊郵便局裏）

外科 內臓外科 整形外科 外科一般 醫學士 松永憲一
産科。婦人科 院長 木村寅次郎
平新川町十九
木村病院
電話一六四番

蜂（ハチ）ブドー酒（シュ）
こもすれば
胃腸を害し易い秋です 必ず召上れ
毎食前 蜂の一杯を！ 一杯よく胃液の分泌を促して消化を助け 絶大なる殺菌力と相俟つて 健胃 整腸の効を遺憾なく發揮いたします
美味滋養……蜂ブドー酒！

近藤利兵衛商店

活動開始の昨日丈で一擧三十一件を開拓
平紹介所の十週年記念宣傳　斷然縣下の最高記錄を作る

平職業紹介所では既報の如く職業紹介法實施十週年記念として昨二十六日から三日間を求人開拓デーとして役場、學校、區長等の應援を得て官公衙銀行、會社、商店、工場に依賴狀並に求人票を配布して大々的宣傳に努めた結果昨二十六日丈けで男女少年併せて十一名の求職口を開拓し遙かに縣下各市の紹介所を凌駕し斷然縣下一の好記錄を作つたので之に力を得た同所では今明の二日間は更に馬力をかけ開拓に努める事となつた

△男十七名（內土木建築四、商業二、農業水產戶內使用人各一、外交員八）△女一（戶內使用人）△少年十名（工鑛業二、商業六、通信運輸二）△少女三名（戶內使用一、雜業二）

滿洲の野で行方不明
玉川村出身の箱崎二等卒

其筋に達した電報によれば去る十五日滿州通傑東方七キロ五道木附近の戰鬪に於て行衛不明になつた本縣第二師團管下に屬する本縣關係兵卒三名中本郡出身の玉川村大字大原五、步兵第二十九聯隊二等卒　箱崎光　君がある　光君は同村の小農で傍ら豆腐屋を營んでゐる箱崎種吉の四男に生れ幼少より元同村長箱崎伊勢松氏方の作男に雇はれ本年一月入營した謹直の模範兵であつた

凡有る方法を以て健康增進を强調
平署管內週間中の行事

平署では來月十日より一週間縣下一齊に行はれる健康增進週間中各學校男女青年團、在鄉軍人會と協力し健康增進講話會並に衛生展覽會同映畫會を開催し醫師會と共に衛生相談所を開設する外マーク、パンフレット、ポスターを配布し運動方面では劍道、柔道、野球、角力、驅走其他の運動競技會を開く外家庭に在つては深呼吸、冷水摩擦、萬年床廢止、衣服の洗濯、下水修繕家屋內外淸掃、蠅取、暴飲食注意等を强調する方針で一兩日中協議打合會を開く筈である

石城の酒と醬油
東北六縣品評會へ出陳

第四回東北六縣淸酒、醬油品評會は去る十二日より二十一日迄十日間に亘り審査の上來月四日より三日間仙臺稅務監督局內に陳列する筈であるが石城郡からの出品は左の如くであると

淸酒（榮天宅）山崎元三郎（典仙）馬目仙十郎（小錦）和泉屋本店（福鶴）本馬佐源次（澤の井）鈴木兵十郎（松の友）豐田吉松（白馬の雪）松本德一（鶴仙）松吉屋（山泉）熊谷長一（愛國）町田酒造合資會社（福美）四家又一（近盛）馬目合名會社（花井の譽）大平睦四郎（稻妻）古川傳一（淸福）鷺淸昇（淸世界）淸水屋商店（以上四五點一六名）醬油ヤマフル印山崎合名會社外二一點二名

獵師渉く
獲物は豐富
今年の狩獵免許數

平署管內に於ける狩獵免狀下附願は昨二十六日で大体下附濟となつたが不景氣の爲に昨年の百五十二件と比較しその半數にも達せざる六十七件の少數なるに引き替え今年の鳥獵棲息狀態は從來曾て見ぬ迄の密集振りで天狗連が自慢の鼻を蠢めかすに充分なるものがあるので平署では不況の折柄密獵者の橫行を豫想し日曜祭日等には非番巡査を督勵し監視の目を睜つてゐる

菊田方部磐女生徒父兄會

植田、錦、山田方部の磐女生徒父兄會は來月二日午前十時より植田小學校に開催木村校長臨席すると

在米六百二十石
其筋最近調査の心細い郡下現在高

平米穀檢査所で最近調査した管內在米高は左記內外米合計六百二十石の少量であるが殊に小作人の持米は殆どなく新米の收穫期迄は反對に小賣人より購入せねばならぬは勿論一部自作農中にも辛じて當面を凌いで居るのがある

△地主一六〇石、自作農七〇石、內地米三六〇石臺灣米三〇石、計六二〇石

絞殺されたか？平町に居る乎？
煙の如く消へた美女中
山形から其筋へ照會

本年九月山形縣最上郡赤倉溫泉大川旅館に女中奉公中數人の男と關係を結び猛烈な競合痴話喧嘩に居たまらず家出した同縣北村山郡東根町豐長女毛利みよ(三八)の所在については未だ判明するに至らず噂は噂を生んで絞殺の上山中に投棄されたとの說が愈々大きくなつてゐるので新庄署では楯岡署と協力して行衛搜索を行つてゐる

尙ほ彼女は瀨見溫泉に一時姿を見せてゐたことがあるとの說もあり、間もなく何處ともなく消へ失せたといはれてゐるので仙臺、福島方面にまで照會中であるが一向それらしい者が見當らず殺害說を深めるのみなので新庄署では持て餘し彼女を競合つた數名の關係者を片つぱしから取り調べてゐるが何等手懸りを得るに至らず

一方平町にゐるとの說もあるので取敢ず新庄署では平署に照會を發する等各方面に手配中である

原審通り一年半
幽靈貯金通帳犯人
元平郵便局員阿保俊助服罪す

平郵便局に在職中幽靈名義で郵便貯金をなし千五百圓の貯金通帳に僞造して、退職後右僞造通帳から千四百圓を拂戾そうとして平郵便局の女事務員に發見された平町字胡摩澤百十四番地居任靑森縣中津輕郡豐田村生れ阿保俊助(三)にかゝる公文書僞造行使詐欺未遂事件は昨二十六日宮城控訴院で原審通り懲役一年六ケ月の判決を言渡され被告人は卽時服罪した

無殘に傷めらるる純眞可憐な芽生え
第一校に四十三名を算する
保護者會費免除兒童の境遇

平第一小學校に於て保護者會費を免除してゐる貧困兒童は現在四十三名で昨年より約十名を增してゐるが之等兒童の境遇は何れ悲慘ならざるは無いが中には父の他界から五人の子を母の手一つで支へてるのや父が行衛不明の爲隣家の世話になつてゐる殆ど欠食常習の兒童などその哀れさ加減は想像以上に深刻なものがある

書籍店から來る見本は斯くせよ
磐中、高女へ通牒

中等教員の身にありながら書肆より提出する見本を多數要求し商人に割引買却し利益を得てゐた者があつたので文部省から磐中、高女等に無檢定の教科書は採用せず見本類は學校に保存するの他は必ず廢毀する事の通牒があつたが右に就て中川磐女教頭は語る

私の方では見本を圖書室に納め生徒の參考に供してゐます、毎年商人は買ひに來ますが賣つた事はありません見本を圖書室に供へる事は最良の利用方法だと思ひます

平町新風景
不思議な存在
乘客を振り廻す　徹底したボロ自動車

晩秋初冬の風はよし些か冷たくも、好晴の日曜をオープンのドライブなんかは迚も愉快なものの一つなんです。また締め切つたルームで若い女の髮の香に噎せ乍ら車上心ゆく許り刻々變化する田園風景を送迎するなんかも決して嫌やな氣持ちはし無いんです。

○

處が平署管內百餘の乘用自動車中にはおん襤褸さんの襤褸で周圍はガラ明き、屋根からは日光が拜めると云ふのがあるんです。どつちかと云へばオープンに近く生まなか形許りの屋根が附いてる丈けに見ようによつては單葉式飛行機と云つた鹽梅なんです。

○

勿論スプリングなんてものは有りやう筈は無いから第一クッションの快味が無いのは當然として一上一下怒濤に掀飜さるる小舟の樣な車体は路面の凸凹毎に車上の人を振り廻し一朝石にでも躓かうもんならガタンとばかり厭やと云ふ程下から尿道を突き上げるんだからたまらないんです。

○

適れトラクター陸上機。屋根丈けの幌を翼に見立ててそんな氣にもなつて見るが縱橫に吹き拔ける冷たい風と振り廻される樣な車体の動搖から、どうしても空への憧れに猛拍車を加へる──と云つた氣分が出て來ないんです。

○

運轉手君はハンドルを右に左に悄然として『どうせ俺あ今年一ぱいだ恁廢ボロ車で當り前の料金を貰ふなんてお客樣に氣の毒でなんねね』と咏歎の聲を發したんです。途中手を上げた二三人連れの娘達は目前に停まつた車の餘りに徹底したボロに驚いて乘る事を見合せたんです。

○

ガタガタ、ゴトゴト。幌ともオープンともどつちつかずの乘合自動車(?)は赤蜻蛉群れ飛ぶ縣道を、國道を、今日も亦蹌踉蹣跚として醉ひどれの如く愉快な行進を續けてゐるんです。妊婦が乘つて居ないかと心配で溜らないんです。

投檜　寄書歡迎
靈場の尊嚴

◇自分は最近靈場赤井嶽を參拜し云ひ知れぬ尊嚴に打たれた。そして曰く戰勝、曰く安產、と祈願のお符を受ける人々の多いのを見て一種の感激を禁じ得無かつたが憾むらくはそこに一つの不自然なる光景を發見して淡い不快の念を起さずには居られなかつた

◇と云ふのは善男善女が膝行跪坐してお符を受ける場所へ役僧やら雲水やら入り代り立ち代り上草履を穿いた儘どし／＼出入する事である。こつちは有難いお符を受けるのに膝も崩さず凡然として居る處へ、それが假令土や埃が着いて居ないにせよ疊の上の草履穿きは些か善男善女を嘗めた遣り方と云はねばならない

◇坊さん達にして見れば長い間の習慣で何とも思はぬであらうが、より崇高な詰所として下界から遙々昇つて行く俗人にして見ると寒中素足で板の間を歩く位の禁欲生活を見てこそ修行盛りの坊さんの日常に對して敬意も一層湧かうと云ふものだ誇るべき靈場の爲に一考を煩はし度いそして出來る事なら廢めて欲しいと思ふ（內鄉ＳＹ生）

ロロロロロ

第三校童話會　第三校では昨二十六日午前十一時より全講堂に於て左記一二年生の童話會を開催した

桃太郎（一年）浦島太郎（二年）の合唱遊戲、校長挨拶、ネズミの話（林訓導）東郷元帥の幼時（野木訓導）オダンゴの話（花澤訓導）

磐中庭球選手神宮競技參加

磐中庭球部選手篠原欽司、鈴木正の兩君は明後二十九日の神宮競技大會に參加の爲廣田敎諭に引率され明二十八日午前七時五分平發で上京するが兩君は過ぐる北日本庭球大會に優勝旗を獲得した優良選手である

平四倉間驛傳競走
第一校五年以上

平第一校では來月四日尋常五年以上の平、四倉間驛傳競走を行ひ不參加兒童は遠足を行ふ

○○○○○

敎員庭球試合　磐女對平第一校の敎員庭球試合は明二十八日午後二時より磐女コートで磐女對磐中同上は二十九日磐女コートに於て開催

○○○○○

第二校遠足會　平第二小學校では來月四日左記の通り剛健會の遠足を行ふ

一年山田橋、二年平窪村八木內、三年中平窪、四年江筋橋、五年五反田、六年下小川、高等科鬪場

ロロロロロ

磐女小運動會　磐女校では來月四日午前八時から各學年及學級對抗の小運動會を開催する

○○○○○

磐中体育會　磐中体育大會は來月十日午前八時より行ふ

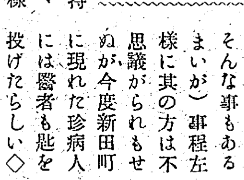
井上組頭の功績章を祝福
廿八日祝賀會開催

平消防組井上組頭は此程大日本消防協會安達會長より消防功績章を授與されたので同組主催で二十八日午前十一時から平館で之れが祝賀會を開催する

○○○○○

奇特な針子連
慰問袋を寄附

平町仲町平裁縫女塾生二十一名は慰問袋二十一個を平町出身在滿兵に贈るべく今二十七日町役場に之が發送手續方を願ひ出た



艶罪黑白

◇性病や癩を持たぬ藝者はツマの無い刺身の樣に何となく間の拔けたもんだ。なんて（まさかそんな事もあるまいが）事程左樣に其の方は不思議がられもせぬが今度新田町に現れた珍病人には醫者も匙を投げたらしい◇何でも噂によると病名は醫者の本にも無いらしい『男癩痂』とか云ふらしいんだが其れがさし込んで來ると大抵內氣なお客は蒼くなつて逃げ出すんだそうな。×姐さんでせうなんて聲が高いぞ。叱つ』

ロロロロロ

音樂會と展覽會　來月二十二日の豫定であつた磐女音樂會は二十九日に變更されたが當日は八時より同校及附近小學校生徒の圖書、習字、裁法等の作品展覽會並に縣下中等學校の巡回圖畫展覽會正午より音樂會であると

○○○○○

配水池工事進む　八幡小路の新配水池は二十五日鐵筋の組立を終り百三坪のコンクリート工事に着手したが目下二十二名の人夫を使用してゐる

差押物件公賣

平町役場では三十日午後一時から昨年度後期町稅滯納人員二百八十三人金額一千六百二十圓に對する差押物件の公賣處分を行ふと

○○○○○

佁賣り助けらる　內鄉村大字小島木賃宿止宿茨城縣東茨城郡飯富村大字飯富一八生れ佁行商大木勘次郎(三二)は昨年一月中ある事情から妻を離緣長男進(四)を伴れ各所を行商し二ケ月程前平町に來たが最近惡性の皮膚病に冒され商賣が出來なくなり今二十七日平町役場に出頭救濟方を願ひ出たので父子諸共行路病人として收容した

手工科指導

縣視學委員會津工業學校敎諭常本新藏氏は左記の通り郡下小學校手工科の視察並に指導を行ふ

二十八日植田、二十九日小名濱、三十日大浦、三十一日平第一

貨物列車運休

平、郡山間の定期貨物列車第五〇列車は貨車不足の爲來月中運轉休止、また平、赤井間の同上第六三、六四列車は來月の日曜五日間炭礦公休の爲運轉休止する

ロロロロロ

堆肥品評會　郡農會主催の堆肥品評會審査會は今二十七日小名濱小學校で開催平米穀檢査所木名瀨所長、稻田農試分場長が出席した

食肉牛乳消費週間
宣傳方法決定

縣協會主催郡食肉牛乳協會支部後援の食肉牛乳消費週間は來月十日から一週間開催される事となつたが之の宣傳方法に就て各關係者が昨二十六日午後一時から平署會議室に會合協議した結果當週間中は東京赤堀割烹學校長を招ぎ磐女、藤田、平陽校中一ケ所で割烹無料講習會を開催する外食肉牛乳定價の一割引販賣を行ふ筈で一萬五千枚のチラシを各戶に配布し宣傳に大努力する事となつた

往來

○○○○○

橋本磐中校長　明二十八日學事視察其他用務を兼ねて上京三十一日東京高等師範創立六十年記念式に臨む筈

○○○○○

木村磐女校長　昨二十六日準急で大阪、京都、名古屋、奈良方面の學事視察に出發三十一日歸校豫定

ロロロロロ

須藤縣技手　平土木監督所小林所長の案內で目下水害地視察中

ロロロロロ

滿期除隊歸鄕　平町久之町三三朝鮮羅南步兵第七十六聯隊第七中隊青木利雄、同七軒町三九同上砲兵第二十五聯隊第五中隊田卷源市の兩君は滿期除隊で昨二十六日午後四時三十六分着歸鄕した

冬も暖かく
裏毛メリヤス　三九錢
毛メリヤス　一二〇錢
婦人みやこ　六八錢
婦人シャツ　九五錢
モリタヤ洋品店
買よき店平5丁目電353

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

貸切は◎
親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任　澤正路

耳、鼻、咽喉科
氣管、食道科
專門
平町南町
大和田醫院
（電一七〇番）
大和田郡司
（自炊の便あり）